

宅配支部ニュース



発行：ユーコープ労働組合
2017年5月9日発行
電話 045-319-4891
FAX 045-319-4893
<http://ucoopunion.jp/>

【2017年度 第1回宅配労使協議会】

理事会「14分早出を調査し上期中に提案する」

2017年度第1回宅配労使協議会が、4月29日（土）神奈川県横浜市の横浜日石ビルにて開催されました。理事会からは、山下運営部長、櫻本しずおか・やまなしエリア部長・栗田運営企画課長、耳塚労政課長、労働組合からは正規職員12名、パート職員6名、計18名が参加しました。

1. 2016年度・4月度経営結果

	実績	予算比・差	前年比・差
2016年度 商品供給高	1133.38 億円	100.64%	101.67%
2016年度 経常剰余高	45.86 億円	+8.24 億円	+0.96 億円
2017年4月度 商品供給高	96.62 億円	99.96%	100.67%
2017年4月度 経常剰余高	4.72 億円	+1.83 億円	▲0.59 億円

<理事会>

2016年度は増収減益。ママ割り改定やポイント付与の改定で経費が増加し減益になりましたものの、純増数は増え良い結果に繋がった。ママ割り改定の効果が出ている。配食事業も想定を上回る良い結果だった。

2017年4月度の商品供給高は、予算未達成。カタログ部門供給高が予算比83.14%、予算差▲0.97億円と乖離したことが要因。経常剰余高は、予算達成。おうちCO-OP、配食事業ともに事業経費が予算内で執行できたことが主要因。

<労組>

今年度の重点課題の一つに「非食品を中心に必要な方に必要な媒体のみ選択配布を行います」とあるが具体的にはいつから実施する予定か？

<理事会>

11月ぐらいから実施したいと考えている。単価が低下する懸念もあるので、様子を見ながらの実施になる予定だ。



2. 2016 年度・2017 年 4 月度安全運転報告

2016 年度予算	2016 年度実績	2016 年度予算差	2016 年度予算比
141 件	115 件	▲26 件	81.6%

2017 年 4 月度予算	2017 年 4 月度実績	予算比（累計）	前年比（累計）
12 件	7 件	▲5 件	▲7 件

*エリア別詳細データ等は、ユーコープ労働組合のホームページをご覧ください。

<理事会>

2016 年度は全体として、目標達成出来た。しずおか・やまなしエリアでは、目標以下に抑制出来たが、かながわエリアでは目標未達成となった。前年との関係では、全エリア削減出来た。職種別で供給職員 24 件（前年差+8 件）のうち 7 件は、期中採用職員の事故となっている。道交法違反は 16 件発生した。

4 月度の事故件数は、直雇用 4 件（予算差▲2 件）で目標以下に抑えることができた。重点課題である人身事故 1 件・バック事故 1 件だった。また、交差点事故は 0 件だった。

3. 2016 年度累計・4 月度の有休取得状況（正規は 3 月度で 2016 年度確定）

正規有休取得率	かながわ	しずおか	やまなし	全センター
2016 年度	54.7%	61.6%	68.6%	59.9%
4 月度	4.0%	5.4%	4.9%	4.7%

パート有休取得率	かながわ	しずおか	やまなし	全センター
4 月度累計	70.5%	76.9%	64.0%	72.7%

*事業所別・ライン別の詳細データは、ユーコープ労働組合のホームページをご覧ください。

*年度累計→正規職員は 2016 年 4 月度～2017 年 3 月度、パート職員は 2016 年 7 月度～2017 年 6 月度

<理事会>

取得がすすまなかったかながわエリアでは、供給パート職員やマイシィスタッフの欠員によるイレギュラー代走が年間を通じて発生し、供給主任や Mgr の取得に影響を及ぼした。一方取得が進んだやまなしエリアでは、年間計画を意識した管理を継続して行い、イレギュラー代走が発生した際は月度内で修正をし、取得遅れを抑制した。

<労組>

パート採用が進まなかったことが、かながわの有休取得率低下の主な要因だということか？

<理事会>

そうだ。特にかながわで採用競争力が落ちていることは否定できない。時給だけではなく、ほかにもやれることが残っていると考えている。例えば、求人検索サイトでの検索を可能にすること・面接から採用までのスピード UP・託児所の検討・職場環境の改善などに取り組んでいく。

<労組>

有給休暇は前年と比べても大切だが、今年度の計画に対してどうなのかが大切。今後は計画比を重視したい。

4. 供給ラインの休憩取得について（2015 年秋闘要求継続事項）

休憩取得 30 分以下コース数	9 月 2 週	11 月 4 週	2 月 2 週	4 月 2 週
正規職員	46	45	22	20
パート職員	38	32	17	15

<理事会>

※休憩 30 分以下のコース

2016 年度はコースリフレッシュを 4 回行い、休憩取得は改善が進んだ。直近（2 月 2 週→4 月 4 週）でも、職員 22⇒20 コース（▲2 コース）、パート 17⇒15 コース（▲2 コース）と減少している。休憩取得率も職員 87.3%⇒89.3%、パート 94.4%⇒94.4%となっている。

503 藤沢センターでは、AM 配送終了後にセンターへ帰着していたコースを、昼に戻らないに見直し、休憩取得率が職員 92.2%（074 週差+4.5%）、パート職員 100.0%（074 週差+21.6%）と改善した。2017 年度供給 Mgr 研修において、休憩取得状況の進捗を共有し、取り組みが前進しているセンターの事例が水平展開できるようにすすめる。また、残業取得状況について運用徹底を図る。取得が出来ていない担当者に対し、センター長・Mgr が個別に聞き取りを行い、要因を調査する。

<労組>

ヤマト運輸の件もあるので、データ上だけでなく本当の実態を受け止める必要がある。

<理事会>

目標は 100%取得をめざす。

5. 14 分早出勤（2017 年春闘要求継続事項）

<労組>

状況を調査するというが、簡単なアンケートで済ませるではないか？センターごとに状況が違う。アンケートでは実態が出ない事もある。

<理事会>

軽視しているつもりはない。実際に現場にも足を運び実態を把握したい。作業の組み立ても見直す。混乱しないようにする。そういう意味での調査。センター長中心に進めていく。センターごとの実態を調べて、上期中に提案する。

6. その他

（1）声を生かす取り組み

<労組>

すごく良い取り組みだと感じている。しかし、上がった声についてイントラでフィードバックされていることを、ほとんどの職員が知らない。もったいない。職場全体・委託にも共有化してほしい。

<理事会>

職場会でフィードバックしていく。委託にも共有化していく。

（2）宅配センターのトイレ改修（2016 年秋闘継続事項）

<理事会>

■508 平塚センター ⇒ 3/11（土）に工事終了

■511 小田原センター⇒ 3 月度に工事終了

■541 都留配送所 ⇒ 便器が一つしかないため、工事期間における仮設トイレの設置も含め、見積もり中

※見積もりが出次第、早急に修理を進める（金額次第では洋式への変更も検討）

(3) スクロール商品適配化

<労組>

1日、どれくらいの量を運ぶのか？布団などの大きい商品もあるのか？仕分け表はどのサイズで出すのか？宅配の作業表はどうなるのか？不安だ。

<理事会>

おおよそ1日、2～3袋しかない。大きさもブーツが一番大きいサイズ。仕分け表のサイズはセンターごとでA3・A4に決められる。作業表は別になる。センター納品は月が当日、それ以外は前日になる。

(4) 着信拒否が多発している要因

<労組>

組合員へ配送関係の用事で電話しても着信拒否が多い。電話番号検索サイトの「JPナンバー」で、おうちコープのフリーダイヤルを検索すると、「共済や宅配利用のお願い電話がしつこく掛かってくる」といったある種の悪口がたくさん書き込まれていることに気が付いた。このような検索サイトやSNSでの発信が、着信拒否増加の要因の一つになっていることを懸念している。供給と営業でフリーダイヤルの番号を分けるなどの対策も必要になっているように思うが、理事会の認識を伺いたい。

<理事会>

持ち帰って調べてみる。

2017年度第2回宅配労使協議会のお知らせ

2017年度宅配労使協議会は年間6回開催を計画しています。

第2回は、

7/1(土)しずおかエリア（しずおか県本部）です。

12:45～13:00 労組内打ち合わせ

13:00～14:45 宅配労使協議会

15:00～16:00 型別労働安全衛生委員会

多くの労組員のみなさんの参加を
お待ちしております。

